

他自治体の施設（参考）

MiiMo（奈良県三宅町） … P2～10

複合施設

にっこりあ（宮津市） … P11・12

子育て支援センター

やぶ市民交流広場（養父市） … P13～16

市民ホール・図書館

MiiMo（奈良県三宅町）

複合施設



子どもたちが
まちのみんなが
もっと三宅を好きになる

複合施設は“三宅町の将来を育むまちの拠点”

三宅町では、中央公民館など公共施設の老朽化に伴い、複数の施設の更新が課題となっておりました。また、平成 27 年度に児童館が耐震不足で閉鎖され、学童保育の実施場所を変更するなど、小学生の放課後の居場所が大きく変わりました。

そのため、三宅町では、公民館、図書室、学童保育、子育て支援施設など複数の施設の機能を兼ね合わせた"複合施設"の建設を進めております。

この"複合施設"は、単なる複合的な機能を持つ施設ではなく、「子どもも大人も自分ごととして関わり、まちのみんなができること・やりたいことを積み重ねながら、三宅町の未来を育むまちの拠点」となることを目指しています。



複合施設のランドコンセプト

子どもたちが、まちのみんなが、もっと三宅を好きになるために。

三宅にあるものを活かし、三宅になかった新たな魅力を生み、三宅の未来を育む。

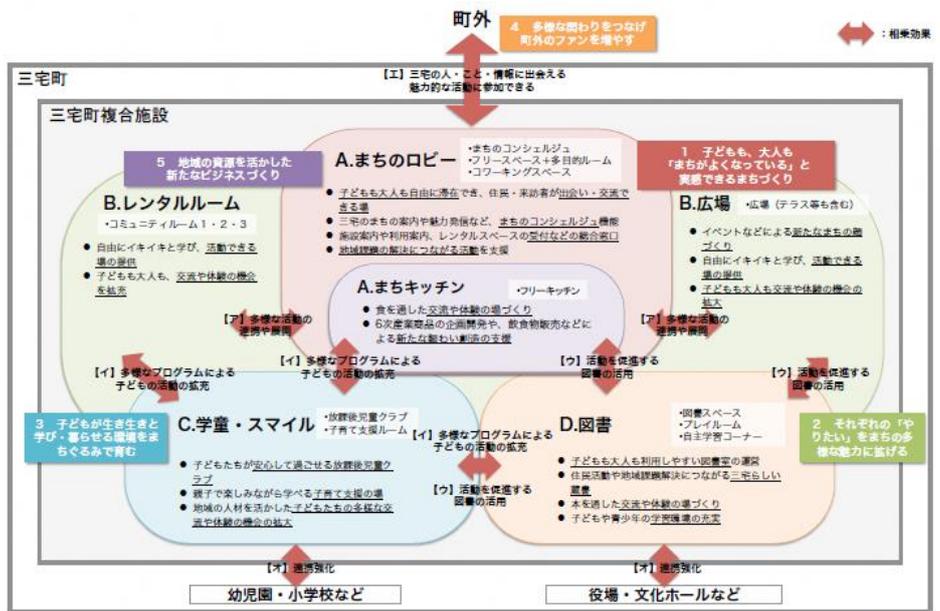
5つの目的

三宅町複合施設は、次の5つの目標を定め、子どもも大人も自分ごととして関わり、まちのみんなができること・やりたいことを積み重ねながら、三宅町の未来を育むまちの拠点として運営していきます。



運営方針

三宅町複合施設は、公民館機能、学童・子育て支援機能、図書室機能など多様な機能を1つに集めています。これらの多様な機能を相互に連携しながら、一体的に運用することで、活動の連携や新たな展開などの相乗効果を生み、子どもも大人も関わる拠点としていきます。

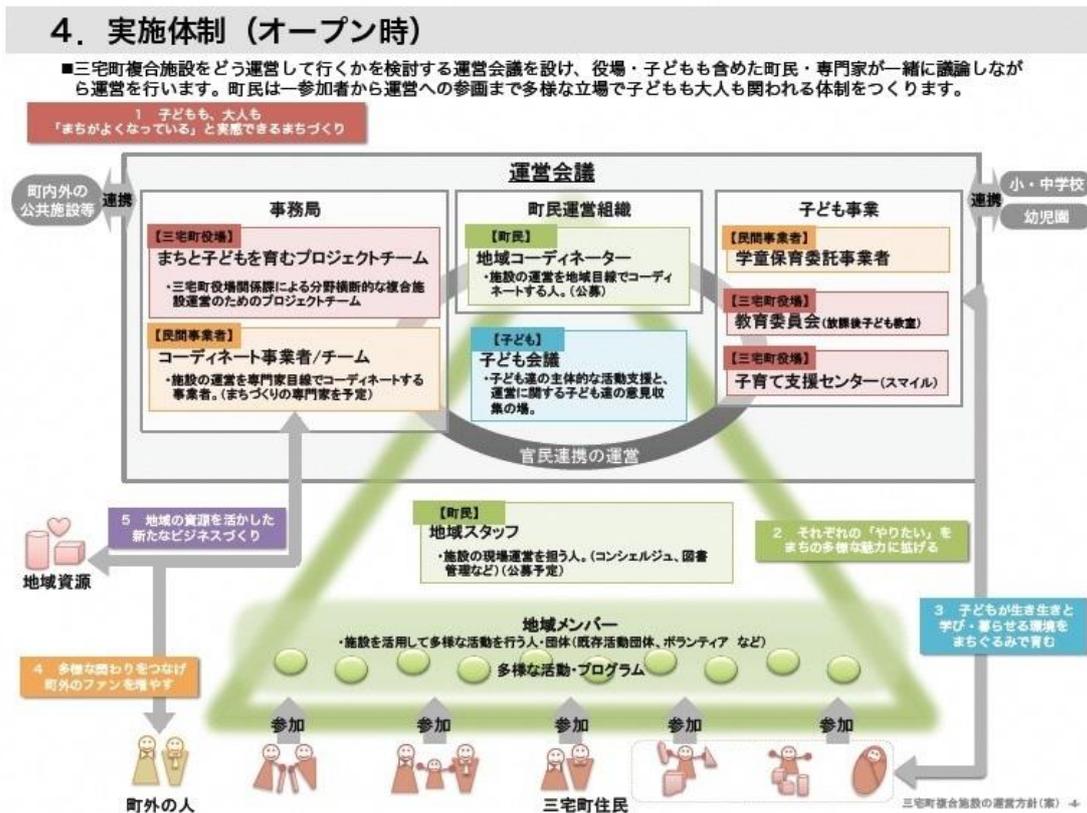


実施体制

複合施設をどのように運営していくかを検討する運営会議を設け、行政・子どもも含めた町民の皆さん・専門家が一緒に議論しながら運営を行います。

町民の皆さんには、施設で行うプログラムの「参加者」から、運営会議の「参画者」まで、様々な立場で、運営に関わる体制をつくりまます。

また、運営については、大人だけで考え・決めるのではなく、小学生・中学生のみなさんにも一緒に考えてもらい、みなさんが利用したい!と思える施設運営を目指しています。



複合施設で三宅町が変わるかも。

三宅町に新しく生まれる複合施設のコンセプトは、多世代がつながり地域の魅力が創出される町民ひとりひとりの居場所。まちの子どもたちを中心に、誰もが主役になれるまちづくりの拠点としていくことで、複合施設で生まれるたくさんの「あるかも」が、まちのみんなの「三宅町に住んでいてよかったな」の気持ちにつながることを目指しています。

複合施設が目指す3つの方向性

- 1 子どもが生き生きと学び・暮らせる環境をまわぐるみで育む
- 2 それぞれの「やりたい」をまちの多様な魅力に拡げる
- 3 「まちがよくなっている」と実感できるアクションを企画推進する

1 子どもたちがいつでも自由に楽しめるかも



「子どもが遊べる場所がないんです。」
「公園がなくって」そんな声を聞きますが、大丈夫です。暑い日も雨の日も遊べる半屋外スペースや、図書コーナーなど、赤ちゃんからお兄ちゃんお姉ちゃんまで、子どもたちがいつでも楽しく過ごせる空間がたくさんできます。



せめて24時間くらいまで開いてないと、夜のまちが楽しめない。お仕事が終わってから家事がひと段落してから、みんなが集まれる場所になります。ナイトシアターだってできるかも。



5 夜もわいわい集まれるかも



みんなで集まっておいしいものを食べたらもっと仲良くなるはず。地元の食材を持ち寄って、料理上手なお母さんたちを中心に、子どもたちも初めてのクッキングに挑戦したりして、家族で休日に参加できる楽しみが増え、まちの人に出会えます。



2 まち全体でパーティができるかも

3 新しい活動やビジネスのチャレンジができるかも

ちょっとした打合せをしたいときや、試しにいろいろやってみたいときに、自由に使える活動の場があれば、新しいチャレンジにつながるかも。自慢の産品を展示販売したり、週末カフェも開くこともできる。「やってみよう」を応援するスペースができます。



6 これまで三宅になかったプログラムが楽しめるかも

三宅町ではたくさんの活動があるし、いろんな特技を持った人がいます。そんな人たちが先生になったら、プログラムはどんどん盛がります。名物プログラムが育てば、町外からも人が集まってくるかも。



4 ゆっくり時間が過ごせるかも

一人になりたいときもある。友達と語り合いたいときもある。そんな時間が過ごせるのも、まちの良さ。好きな本を読みながら、お茶をしながら、調べものしながら、自由に時間を過ごせます。



7 私にもできることがあるかも

はい、あります！ ちょっとでも「面白そうだな」と思ったあなた、何かまちでやってみよう、一緒にやってみよう！ みんなが関わって、まちを知り、考えきっかけになるような活動を育みたいと考えています。



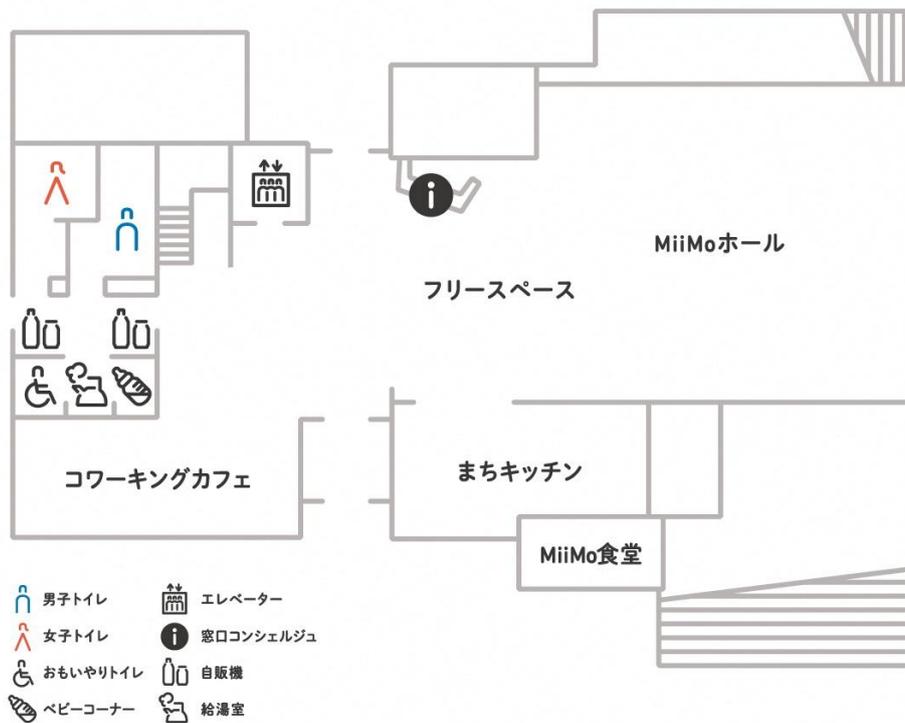
自分たちの「やってみよう！」や「こうだったらいいな！」を話しあい、実際に三宅町を元気にする活動をやってみませんか？

定期的開催予定の「あるかもカフェ」や「あるかも」子どもチームなどで、みなさまの「やってみよう！」を考えましょう。

施設にはどんな場所・スペースがあるの？

複合施設には、次のような場所やスペースがあります。

1 階



みんながチャレンジする「フリースペース」

子どもも大人も自由に滞在でき、住民や来訪者が出会い・交流できる場

多目的利用が可能なフリースペース

お腹と心を満たす「フリーキッチン」

広場に面した大きなキッチン。

営業許可をとって、いろいろな料理が提供することもできる。

まちのみんなが自由に集まって料理を楽しむことができる。

ひろびろで使い方自由の「多目的ルーム」

通りからも見通せて開放的。

仕切り扉も舞台も椅子も移動可能で、使い方は自由自在！

最大 200 人まで集まれる。

パソコン持って気軽に寄れる「コワーキングスペース」

打ち合わせもできるシェアデスクと、集中できるブース型のデスクが選べる。
フリーWi-fi・コピー機を完備。



「まちのコンシェルジュ」

まちの案内や魅力発信をするまちのコンシェルジュ。
施設の利用案内や予約受付ができる総合窓口。

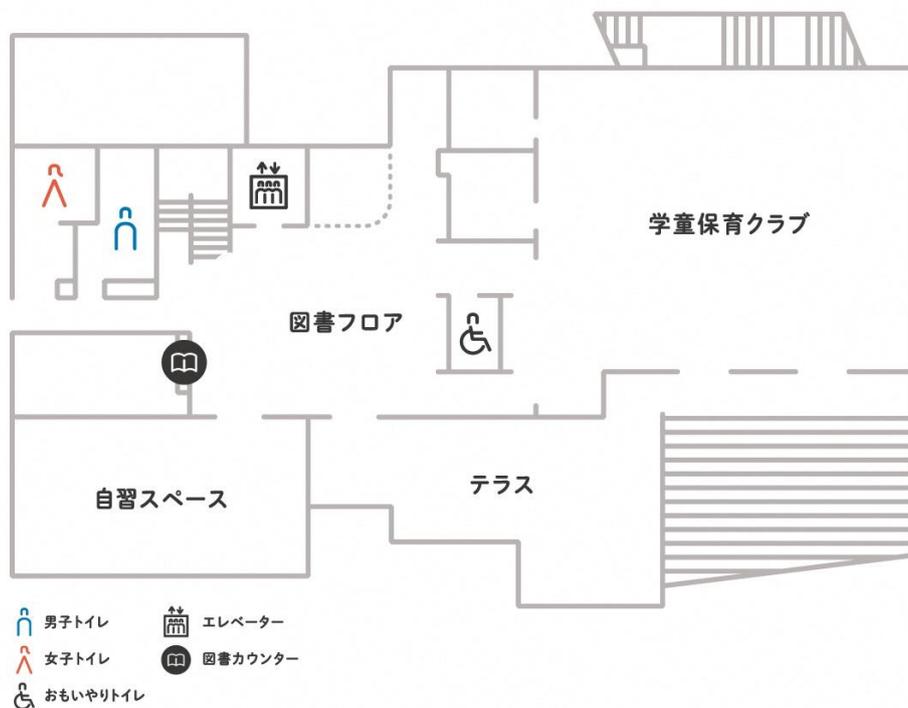


子育て中でも安心「ベビーコーナー」

子育て世代も安心。おむつも替えられるベビーベッドや、ミルクを作れるお湯も完備。

まちと施設をつなぐ「大階段」

三宅町に今までなかった大きな階段は、みんなが集まった時の集合写真スポットになったり、ベンチになったり、広場イベントの客席になったり。



子どもたちが、もっと三宅を好きになる「放課後児童クラブ」

学童の子どもたちが安心して過ごせる放課後児童クラブ。

学童の子どもたちも、そうじゃない子どもたちも、みんな一緒に遊べる楽しい仕掛けがいっぱい。

静かに勉強できる「自習学習スペース」

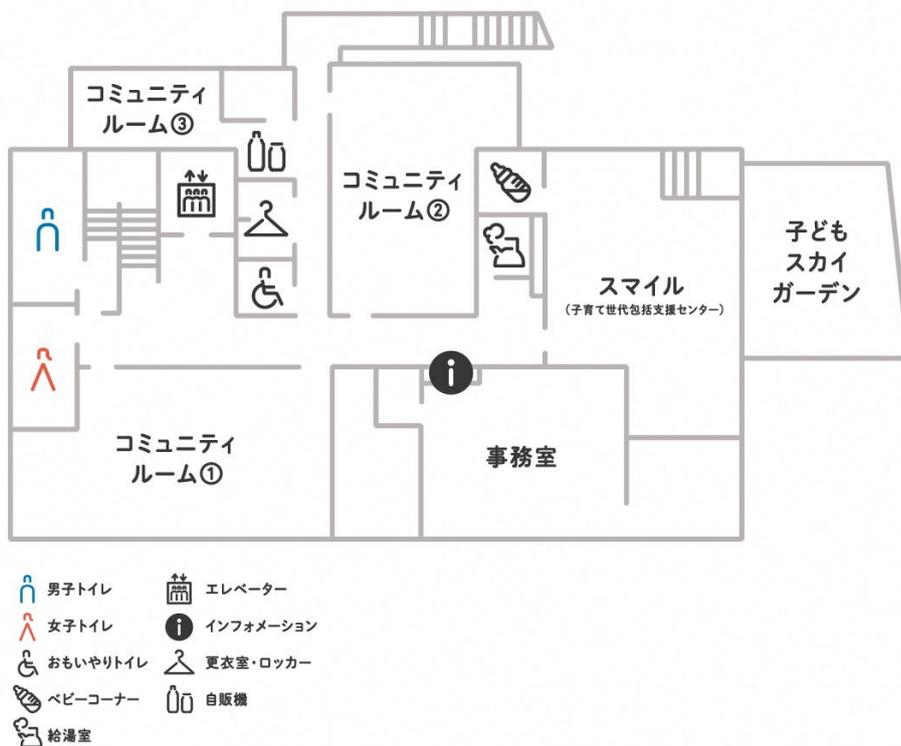
広場を眺めながら、子どもや学生、大人のみみんなも、静かに勉強や読書をして落ち着ける。

のんびりできる「図書スペース・プレイルーム」

子どもも大人も利用しやすい図書室で、ゆったりくつろぎながら本が読める。

住民活動や地域課題解決につながる三宅らしい蔵書も。

本を通じた交流や体験の場づくりをします。



ゆったり安心「子育て支援ルーム」&「子どもスカイガーデン」

親子が楽しみながら学べる子育て支援の場。

ゆっくり赤ちゃんと絵本が読めたり、屋根上のテラスは安全に遊べてパパママも安心。

いろんな活動ができる「コミュニティルーム」

ダンスや音楽もできる。いろんな教室や、勉強会、会議もできる。

自由にイキイキと学び、活動できる場。

学校生活・勉強や進路、子育て・育児などのいろいろな悩みを相談できます。

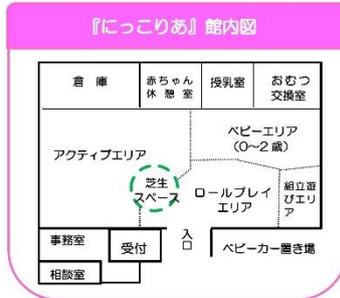
にっこりあ（宮津市）

子育て支援センター

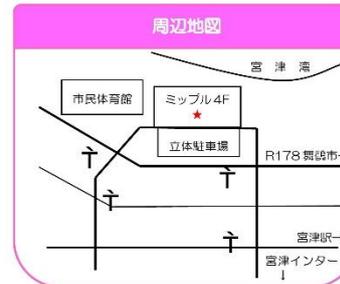


ご利用の際のおねがい

- みんなが気持ちよく利用できるように、次のことにご協力ください。
- 初めて利用される方は、最初に利用登録をお願いします。
- けがや事故のないよう、必ず保護者の方が付き添ってください。お子様の安全管理は、保護者の方が責任をもってお願いいたします。
- お子様だけのご利用はしていただけません。お子様を預けて『にっこりあ』の外に出ることもできません。
- 貴重品の管理は、各自でお願いします。紛失・盗難等について責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 利用したおもちゃや絵本は、元の場所に戻してください。
- ごみ、紙おむつなどの持ち帰りにご協力ください。
- 感染症の疑いがある場合は、利用をご遠慮いただいています。
- 飲食は、赤ちゃん休憩室をご利用ください。利用時間は、11時30分から13時30分までです。
- 大雪、大雨警報等（波浪警報を除く）発令時は、休館します。



- ### 利用のご案内
- ◆開館時間：9：00～16：30
 - ◆休館日：木曜日、年末年始
 - ◆対象：未就学児童（日曜日のみ小学4年生まで）
 - ※いずれも保護者の同伴が必要です。
 - ◆利用料：無料



子育て支援センター

にっこりあ



〒626-0012
宮津市宇浜町 3012
宮津市福祉・教育総合プラザ内
（宮津シーサイドマートミツプル4階）
TEL 0772-20-2525



『にっこりあ』は、子育ての楽しさを見つけるお手伝いをします！

宮津市子育て支援センター「にっこりあ」は、就学前のお子さんとその保護者の皆さんに子育て支援の場として利用いただけます。

子育てのちょっとした悩みを一緒に考えたり、喜びを伝えあったり、行事に参加したりしながら友達のを助けましょう。

交流ひろば



- 【おやこ体操】
親子も体を動かしてリフレッシュ
- 【季節ごとの工作】
何ができるかな？
- 【いつでもどうぞ】
お友達、なかよし同士、「にっこりあ」であそんでください。
楽しいあそびがいっぱいあります。

子育て相談



ことばが遅い、食事を食べてくれない、まだ歩かない、こどもといるとイライラする、こどもとの接し方がわからない・・・など、子育てには不安や悩みがつきものです。お気軽にご相談ください。解決方法を一緒に探してみませんか。

利用者支援事業



宮津市では、安心して子どもを産み育てることを支援していくため、平成29年10月から、利用者支援事業を始めています。

支援員は、多様な子育て支援情報やサービスを分かりやすくお伝えし、適切な支援につなげる子育ての案内人です。

子育てに関する悩み、困りごと、分からないことを気軽にご相談ください。一人で悩まず一緒に考えましょう。

あなたの子育てを応援します！！

子育て講座



食育・健康・しつけ・遊び・発達など子育ての参考となる講座、保護者がリフレッシュできる講座、親子で楽しめる絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、お誕生会などのイベントを開催します。

子育て情報



安心・ゆとりのある子育てを支援するため、様々な情報を提供しています。お気軽に職員にお問い合わせください。施設内には、各種パンフレット等を用意しています。ご自由にお持ち帰りください。



やぶ市民交流広場（養父市）

愛称「YB ファブ」

市民ホール・図書館



『人と文化と郷土をつなぎ、未来を創る学びと交流の拠

点』立誠舎、旧山陰道、八木川を繋ぐ南北の通り抜け空間（小路）を中心ににぎわいを創出できるコンパクトな施設です。「学校帰りや仕事帰りにふらっと寄れる」「お互いの顔が見える」そして「一歩外へ出ると雄大な自然の中でのびのびと過ごせる」そんな文化会館です。

延床面積

4,352 平方メートル

駐車場

143 台(ほか臨時駐車場あり)

構造・階数

鉄筋コンクリート造(RC造)、一部鉄骨造(S造)、2階建

客席数

650 席



賑わいを生み出す「小路」

「小路」を挟んでホール棟と図書館棟を配置することで、日常のさまざまな活動をみんなが共有できる計画です。「小路」から施設全体へと連続的に繋がるような床仕上げなどで、建物の内外が一体的な活動空間となるように計画しています。



まちなみ」や「やまなみ」をイメージした屋根

南北方向を妻面とした切妻屋根とし、養父市の特徴的な景観を表しています。屋根材には瓦を用い、地場製品であった「八鹿瓦」を歴史的、景観的に継承します。



一体感のあるホール

客席を扇形とすることで、演者と客席が近づき、より臨場感のあるホールとなっています。アコースティックの音響に重点を置き、舞台は開口部の高さを十分に確保しています。可動の音響反射板を設置することで、講演から演奏会までさまざまな演目に対応できます。リハーサル室は、1階南側に設け、南側に広がる公園と一体的な発表の場としての活用できます。また、壁面の鏡により、ダンスや舞踊の練習にも利用できます。ホワイエは、南北をガラスとすることで、まちなみややまなみが望める日常の憩いの場として利用できます。



まちのリビングのような図書館

図書館棟は、養父市産の木材を壁面に利用し、書架の木質化など温かみのある内装とし、テーブル席やカウンター席などさまざまな設えにより、読書や勉強など思い思いの過ごし方ができます。エントランス部分を挟んで北側に読み聞かせコーナー・児童書架、南側に一般書架・ラーニングコーナーを配置することで北から南へ、にぎやかなエリアから静かなエリアへと音の区画化を計画しています。

